



建築設備技術遺産

認定第 37 号 TOTOミュージアム所蔵の
ウォシュレット一体形便器（ネオレストEX）
管理者：TOTO 株式会社
所有者：TOTO 株式会社

本製品は 1993 年に発売された住宅向けの腰掛便器である。本便器は、次世代型便器の在り方を示す目的で開発された器具であり、これからの住宅のトイレに関し、便器という今までの固定概念から離れ、機能性、デザイン、操作性、節水性、洗浄能力、保守・清掃性など多くの点につき見直し、最高水準の流れを追求し商品化されたものである。

従来の住宅向け腰掛便器は、便器後方に設置した水を溜めるタンクと便座とを一体化して組み合わせたものであった。本製品はこの便器洗浄水用のタンクをなくし、初のタンクレス便器（温水洗浄便座一体型便器）とした。この点が本製品の最大の特長といえる。このローシルエット・タンクレスの実現により、トイレの器具構成・器具周りがすっきりし、トイレの空間構成などデザインの幅が広がり、これからのトイレ空間の在り方を考える際の自由度が増した。

本製品の便器洗浄方式はハイグレードの洗浄方式であるサイホンゼット式を採用している。この方式は、ボウル面が汚れにくく、サイホン作用による汚物搬送力が強い。また、臭気の発散が少ないなどの高性能の便器であるが、1 回の洗浄水量は 13 リットルと多い。そこで、本便器では電子制御シーケンシャルバルブを使用し 8 リットル洗浄を実現している。その後、大 3.8、小 3.3 リットルとなっている。(2012 年)

タンク撤去により空いたスペースは各種機能部収納などに利用することができる。タンクレスなので、水を溜める必要がないため水溜め音がなくなり発生騒音的にも有利である。また、器具の連続使用ができ、1/2 口径で接続できるため利用者が集中するパブリック器具トイレにおいても利用できるなどの汎用性がある。

本製品は、当時の最高水準の流れを提供できるようになっているといえ、そして、その

コンセプト、デザイン、性能などすべてにおいてその後の住宅用便器のあり方に大きく影響を与えた製品である。また、本製品は、便器に特化していながら、住宅のトイレ空間を排泄行為の場（便所）からレストルーム（REST ROOM）という新たな空間としての意味づけを持てる空間に変わっていくきっかけとなった製品でもあるといえ、便器としての器具自体の性能が優れているだけでなく、関連した住まい方にも影響を与え、種々の可能性を広げるとともに、汚れ防止（セフィオンテクト）技術や洗浄技術、洗浄水量削減技術など個々の技術的進歩にも貢献している。その他、本製品はグッドデザイン賞も受賞するなど、性能のみならずデザイン面での評価も受けており、その後の便器の開発に多大な影響を与えている。

以上のように、本製品は次世代便器の在り方を示す代表的な製品として設備技術の発展のみならず、デザインから住まい方まで大きな影響を与えた器具でもあり、建築設備技術遺産として認定するに値するものである。

